



市長との約束 2018

私は、「宝の都（くに）・大崎」の実現のため、関係部局との連携のもと、特に下記の事項について、目標達成に向けて取り組むことを伊藤康志市長と約束します。

水道部長

中川 博

約束内容	水道施設の強靱化の推進
達成目標	平成30年度内に、基幹管路及び重要給水施設接続管路及び配水施設等の耐震化整備計画を作成します。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	水道施設及び基幹管路の耐震化に向けた実施期間及び概算事業費をまとめ上げることができました。
今後の課題 解決策	今回の計画を作成するに当たっては、それぞれの事業費規模が大きく、短期間での耐震化は難しく、事業期間を延ばさざるを得ない状況であります。今後は、この概算事業費と他の配水支管更新や水道施設設備改修事業、鉛製給水管解消事業、遊休施設解体事業などの年度割事業費を調整し、平成31年度に見直しをする経営戦略の中で、投資と財政のバランスを検証しつつ、料金値上げのタイミングもはかりながら、できるだけ早期の耐震化が進められるよう調整を図ってまいります。

約束内容	鉛製給水管解消の推進
達成目標	市内に現存する鉛製給水管約8,500件の更新について、平成30年度内にすべての更新計画を立てます。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%）★★★★☆
達成状況	これまでの把握している鉛給水管存置件数全件再調査を行い、これから解消すべき件数と事業費用、そして事業期間の計画を立てることができました。
今後の課題 解決策	これからの解消件数が、予想よりはるかに少ない2,909件という結果となり、かかる費用についても3億7,000万円程度に抑えられるため、今後7年間という期間の中で確実に解消を図ってまいります。

約束内容	効率的な管理運営
達成目標	有収率を84%以上にします。
達成度	A 概ね目標どおり達成（80～100%） ★★★☆
達成状況	2月現在の有収率は84.56%となっており、昨年の同時期の84.18%を上回り、目標の数値に達しています。
今後の課題 解決策	今後も、効果的な管路の調査と運転管理による数値監視を行い、速やかに水量異常の発見に努めるとともに、経年劣化した管路の更新や鉛給水管解消を行いながら、有収率の向上に努めます。

約束内容	経営基盤の強化
達成目標	決算における純利益を1億円以上とします。
達成度	S 達成目標を上回る（100%を超える） ★★★★★
達成状況	年度末での当年度純利益の見込みは2億円程度となる見込みであります。これは、包括業務委託業者との連携により、水道料金の収納率を上げる（99.78%）ことができたことや、収益的支出において大きな支出もなく、収支バランスを堅持できた成果と考えます。
今後の課題 解決策	今後も、料金の高収納率の堅持と、4条予算での投資と財源の均衡保持が大切であるため、補てん財源である過年度分損益勘定留保資金が過大充当とならないよう、経営戦略の見直しの中で事業規模と緊急性などを精査しながら、健全な経営となるよう努めてまいります。